



Tangible

Policy

ハード施策に
特徴のある取組例

廃校を活用した合宿施設整備による

交流人口の拡大

北海道 深川市

人口規模:約2.0万人
地勢条件:豪雪、寒冷
関連資源:良質良食味米、そば



ハード施策

アウトター施策

主なターゲット

各種スポーツ・
文化合宿実施者及び
企画者

こんな自治体に
オススメ!

既存ストックの活用により、
施設総量を増やさず、
体育施設や関連施設への
転用を図りたい地域

取組の概要

スポーツ都市として陸上競技場等の体育施設を活かしたスポーツ大会や合宿の誘致に取り組みながら、宿泊者の収容能力不足が課題となっていた。その解決策として、また、合宿を通じた交流人口の増と地域経済活性化に取り組むため、閉校した建物を合宿施設「エフパシオ」として改修した。



達成度

合宿延べ宿泊者数 **4,406人**(H27年) >>> **10,911人**(R1年)

効果・成果

地域間交流の創出
関東でスーパーを展開する会社の駅伝部との合宿を通じた交流から、店舗での商品の取扱につなげた

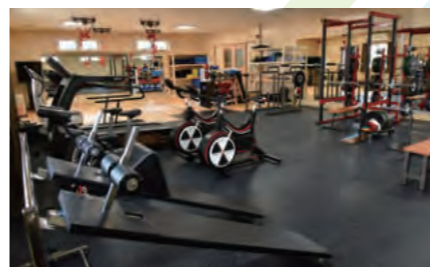
規模・財源

地方創生拠点整備交付金約200百万円をかけ、閉校となった旧深川市立音江中学校を最大150名程度収容可能な文化・スポーツ団体の合宿施設として整備した。



取組のPOINT

- ①合宿招致活動とホスピタリティの強化。
- ②整備施設の運営に際し新たな雇用を創出。
- ③合宿客のニーズに対応するかたちで追加整備したトレーニング室は地域住民の日常利用も好調。



追加整備したトレーニング室



都内スーパーで展開された
本市で製造されるローカルお菓子
くまちゃんポテトチップスの特設棚

担当者に聞いた

成果の要因

全日本実業団対抗駅伝競争大会会場での飛び込み営業等、熱心な草の根活動で泥臭く誘客に努めてきた。また、廃校活用であり、施設としての機能性や美観の面においては優れていない分、細かいニーズに柔軟に対応する真摯な姿勢、食事等の質へのこだわり等を意識し、誘致の数のみならず、交流の質にもこだわったことで、食事の満足度は極めて高く、コアなリピーターをつかむことができた。また、中長期に渡り担当者の異動がなかったことで顧客や関係者との信頼関係が維持できた。



失敗談・苦慮した点

建物の気密性や、エアコンの必要性等、改修後の運用段階になるまでわからなかった躯体の課題も間々存在した。

体制

教育委員会生涯学習スポーツ課
株式会社 スポーツピア(指定管理者)

先導的共生社会ホストタウンとしての レガシーを活かした共生社会の実現

秋田県 大館市

人口規模:約6.9万人
地勢条件:盆地
関連資源:秋田犬、比内鶏、
秋田杉、曲げわっぱ



こんな自治体に
オススメ!

スポーツ環境の整備を
都市基盤や社会資本の
高度化につなげたい地域

ハード施策

アウトナー施策

インナー施策

主なターゲット

交流地域における
ポッチャ・車いすラグビー・
車いすバスケ競技者

取組の概要

東京2020オリンピック・パラリンピック大会を
きっかけとしたタイ王国パラリンピアンとの交流
を通じて、共生社会の実現に取り組み、先導的共
生社会ホストタウンに登録されたことを契機に、
だれもが住みやすい社会の推進を加速化させた。
障がい者トイレの設置等、スポーツ環境に留まら
ず広く都市機能のバリアフリー化を進めている。



達成度

インクルーシブ
スポーツの振興

ポッチャ出前講座申込件数
5件 (R3年4月) >>> 12件 (R3年12月)

効果・成果

都市基盤への
影響

バリアフリー基本構想等複
数の行政計画を策定し、実際
にまちのバリアフリー化が
具体化につながっている



取組のPOINT

抽象的な取組になりがちなオ
リパラレガシーのまちづくり
への落とし込みを、具体的に
実践できている。

規模・財源

約2.2百万円をかけ秋田犬の里の多目的
トイレを改修。



関係者によるバリア点検



実際に整備された多目的トイレ

担当者に聞いた

成果の要因

市長のタイ王国訪問等積極的なトップ営業や、市長直轄プ
ロジェクトとしたことで部署の垣根を超えたタスクフォー
ス型の庁内体制を敷きながら取り組めたことで、スポーツ
やスポーツツーリズムに留まらず、取組を広くまちづくりに
波及させることができた。



体制

スポーツ振興課
観光課
企画調整課

日本スポーツツーリズム推進機構 アドバイス

大館市観光
交流スポーツ部
スポーツ振興課・
観光課・移住交流課

スポーツ コミッション大館 【構成団体】

大館市体育協会
スポーツクラブひない
大館市身体障害者協会連合会
大館商工会議所
大館市観光協会
秋北航空サービス
大館ケーブルテレビ
大館市文教振興事業団
たしるスポーツクラブ
大館北秋商工会
秋田県ツーリズム(DMO)
北鹿新聞社
大館市

事業パートナー

ブラウブリッツ秋田
アランマレ秋田
(株)アールビーズ
秋田ノーザンハビネット
秋田ノーザンブレッツ
コネクト(株)

既存施設への宿泊機能付加による

経済効果の拡大

山形県 庄内町

人口規模：約2.0万人
地勢条件：平野、季節風
関連資源：月山、羽黒古道、米、道の駅、最上川

ハード施策

アウトター施策

主なターゲット

サッカー・ソフトボール等
スポーツ少年団や
ユースレベルの競技者

こんな自治体に
オススメ！

集客力のある体育施設
はあるものの、経済効果
に結びついていない地域

取組の概要

体育施設を計画的に集積させ、様々な競技
に対応したスポーツ公園として町内外の利用
者に親しまれており、大規模大会の開催
実績も豊富である。一方で地域に宿泊機能
が不足していることで、大会や合宿参加者
が町外へ流出していたことから、公民館
(R4.4.1～まちづくりセンター)を宿泊や入
浴が可能な施設として改修し、旅館業法に
基づく営業許可を取得した。



目標値

観光交流人口 **856,600**人(H28年) >>> **950,000**人(R4年)

効果・成果

宿泊者数 **367**件(H28年改修前) >>> **392**件(H30年改修後)

規模・財源

地方創生拠点整備交付金約50百万円を活用し、給水設備増設、防火壁改修、リネン室設置、トイレ改修等を行い、旅館業許可に耐え得る設備へと施設のリニューアルを行った。

取組のPOINT

「公民館まちづくりセンター」
は従来の公民館機能としての
ニーズも残っていたことから、
躯体の全面転用ではなく、一
部(2部屋約100㎡)のみの転
用とし、必要最小限の事業規
模とした。
改修後はスポーツツーリズムで
の活用のみならず、グリーン
ツーリズム等による来訪者の受
け皿としても活用されている。



農業体験を核としたグリーンツーリズムの
滞在拠点としても活用

担当者に聞いた

成果の要因

もともと、無料で受け入れていた実績もあったことで、最小限の改修に必要な勘所を押さえたうえで改修を進めることができた。



改修した公民館(まちづくりセンター)

また、今後は地域の住民による、食事サービス等にも力を入れていく予定としており、生きがいや雇用の創出にもつなげていく。

体制

社会教育課
企画情報課
保健福祉課
商工観光課

和合の里を創る会(まちづくりセンター指定管理)
コメっちわくわくクラブ(総合型地域スポーツクラブ)
スポーツ推進員(地域おこし協力隊OB)

国際規格の施設整備により 国際規格の人材の移住を実現

茨城県 境町

人口規模：約2.4万人
地勢条件：田園都市、温暖
関連資源：道の駅等にある隈研吾建築群



こんな自治体に
オススメ!

人口減少社会において、
優れた人的リソースを
確保したい地域

ハード施策

アウトナー施策

インナー施策

主なターゲット

BMX、スケートボード、
インラインスケート等
アーバンスポーツ競技者

取組の概要

東京2020オリンピック・パラリンピック大会のレガシーとして、また、アーバンスポーツの国際大会招致を目的にBMXやスケートボード等が実施可能な常設としては日本初となる国際規格のアーバンスポーツパークを整備し、若者世代の移住定住や日本全国からの交流人口の拡大に取り組んでいる。

またこれらの推進に係るハード整備の多くに国の地方創生関係交付金を活用する一方で、施設運営については民間資金等を誘導しコスト削減に成功している。



©Naoki gaman/JFBF

目標値

施設来場者数

11,180人 (R6年)

効果・成果

移住実績

BMXフリースタイル・パーク界では日本で唯一のUCI公認国際審判員の資格を有する競技の専門家が地域おこし協力隊として移住してきた。

(UCI=国際自転車競技連合)

規模・財源

アーバンスポーツパークは地方創生拠点整備交付金を活用し、総事業費約220百万円(1/4町負担、1/4地方交付税措置額、1/2地方創生拠点整備交付金)で整備。隣接するクラブハウスは企業版ふるさと納税による寄付を活用し、事業費約5百万円(10/10企業版ふるさと納税)で整備。

取組のPOINT

移住・定住の促進や交流人口の拡大も狙うが、境町出身の選手や、関係人口として境町に所縁を持った選手が世界に羽ばたいて町の知名度を押し上げてくれることを狙っている。一つの拠点のみならず、複数拠点を整備し面的な開発を行っていることから、拠点間をつなぐネットワークにも取り組んでいる。



BMX フリースタイル・パーク界では日本で唯一のUCI(国際自転車競技連合)公認国際審判員資格を有する稲葉充秋氏(左から2番目)



企業からの投資や、企業版ふるさと納税等も活用し運行している自動運転バスを活用して、各スポーツ施設と全国最多の隈研吾建築群等の観光資源等を結び、まちなかへの回遊を促進

担当者に聞いた

成果の要因

ホストタウンを契機に、同時並行的に進む複数プロジェクトを統括してくれるコンサルティング企業と連携できたことが大きい。

また、民間のハウスメーカーの協賛によりクラブハウス等の付帯施設を設置することでインシャルコストを抑制している。また、スポーツ施設の集積により拠点エリアを形成し、複数施設をまとめて指定管理に出すことでランニングコストも削減することに成功しており、民間活力をうまく使うスキームを構築できていることが、複数拠点の整備、ひいては面的な魅力向上につながっていると考えられる。



整備した境町アーバンスポーツパーク及び SAKAI Tennis court 2020のクラブハウス

体制

地方創生課

ABCプランニング株式会社(施設の指定管理事業者)

